

2017年12月7日
日本アルコール産業株式会社
代表取締役社長 嶋津泰基

工場の設備投資計画の更新について

2016年7月27日に「磐田工場等の設備変更について」を報告いたしましたが、更なる安定供給確保の為に、鹿島工場の省エネ設備強化及び磐田工場の蒸留塔内充填物の更新、省エネ設備の更新を追加致しました。

なお、工事の集中化を抑制し安定供給を確保するために工事スケジュールの見直しを行いました。

弊社といたしましては、これらの設備投資を着実に遂行し、メーカーとしての供給基盤の強化を図り、事業法アルコールの安定供給の責務を果たして参ります。

時期	工場名	品種	変更内容
2016年度	磐田工場	95度	製品貯槽新設、蒸留塔の増設
2017年度	出水工場	95度	蒸留塔の更新(12月上旬完成)
2018年度	磐田工場	95度	既設蒸留塔内充填物の更新
2018年度	鹿島工場	省エネ設備	省エネ設備強化
2019年度	磐田工場	省エネ設備	省エネ設備更新
2020年度	鹿島工場	99度	蒸留塔の更新

これらの投資により、95度(含水)、99度(無水)について、それぞれ年間80,000kl、30,000klの供給余力が確保されます。